

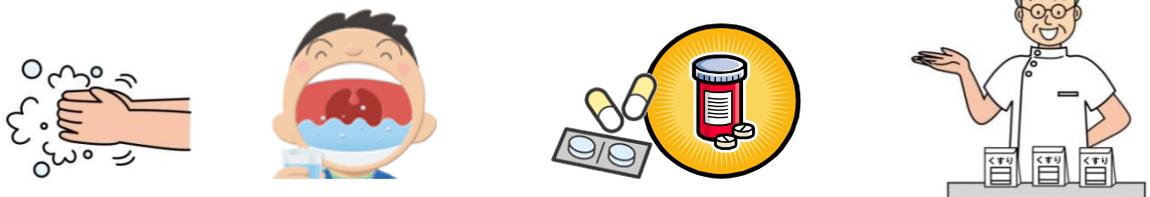
# 新型インフルエンザ感染予防について No. 2

ニュースなどでも報道されているように、新型インフルエンザの流行は、とどまるところなく蔓延しています。

厚生労働省が新型インフルエンザの集団感染数を都道府県から報告を受け始めた7月20日から8月16日までの約1カ月で、全国の集団感染の累計は1734件に上っています。都道府県別では、沖縄が217件と突出して多く、大阪184件、東京160件が目立っています。

10代～20代前半にかけての年齢間で、クラブ活動などを通じての集団感染が多く、そこから家族などの身近な関係での感染が広がっています。また慢性の病気を持っている人や老人、妊婦、乳幼児など免疫力の低下している人がかかった場合に重篤な症状になる場合が多く、最悪は死にいたることが報告されています。

すでに第1波の本格的な流行が始まったとも言われており、これからも引き続き十分な注意が必要です。学生・教職員のみなさんは「手洗い」や「うがい」をしっかり行い、咳の出るときは必ずマスクをして感染予防に努めてください。



もし、発熱や咳などインフルエンザの感染を疑わせる症状がある方は、**最寄りの医療機関で受診するか、発熱相談センターに電話で相談**してください。

厚生労働省より、学校で新型インフルエンザ感染者が出た場合などに報告するように通達が出ていますので、大学にも連絡をお願いします。

以上

2009年8月20日  
保健室